



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



謹賀新年



西7病棟より / 撮影：関口 庶務班長

第31号 目次

院長の言葉	1
年男・年女	2
行事紹介	
APECを終えて	3
新病院のグランドオープンについて	
原宿交差点アンダーパス開通に伴う消防訓練に参加	4
お知らせコーナー	
糖尿病看護ケア外来オープンしました!!	5
職場紹介	
放射線科	6
地域医療連携	
病診連携施設紹介	7
大正連合フェスタ開催	8

医師の人事異動	9
症例検討会・研究会開催のお知らせ	
外来担当医表/編集後記	10
シンボルツリーへのライトアップ	11

発行月：平成23年1月
 発行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：高橋 俊毅
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：<http://www.hosp.go.jp/yokoham/>



当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

- 2011年を迎えて -



院長 高橋 俊毅

2011年（平成23年）兔年の新年を迎えました。新年明けましておめでとうございます。

近年、不透明な世の中で不況からの脱出がままならないわが国の経済状況下で医療界も当院も提供する医療の質向上と安全の確保に悪戦苦闘しております。昨年の診療報酬改定で急性期病院のプラス改定効果が大きいとの報道も見られますが自力で新しい病院を立ち上げた当院では建設前後の設備や医療機器の整備、周辺環境の整備に大きな負担を強いられ、鋭意健全な経営に努めていますがまだまだ厳しいところです。

昨年3月23日の内覧会には約2000名の地域の方に来院していただき私も職員も身の震えるほどの感動と果たすべき使命を深く自覚しました。3月30日の新病院開院以後も職員と共に工夫しながら患者サービスの改善に努力してきました。良い評価をいただいた面もありますがなお一層頑張る所存です。また、これまで「地域連携あつての当院」「選ばれる病院になろう」との自覚に基づき逆紹介の励行に努めてきましたことを地域の先生方にお認めいただいたものと思いますが新病院ではご紹介が増えており感謝しています。引き続き誠実に連携に努めますので一層のご紹介とご利用を賜りたいと願っています。

新病院では救命救急センターの充実やNICUの本格的稼働など病院機能の向上を図り、地域医療支援病院、横浜市南西部地域中核病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子センターとしていざという時にお役に立つ病院を目指しています。さらに、「医療崩壊の危機」の中でも何とか医師はじめ優秀な職員を確保育成して神奈川県保健医療計画で求められている、がん、糖尿病、急性心筋梗塞、脳卒中などの疾患や救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療事業に地域の病院や診療所との風通しの良い連携で良質で効率的な医療を提供していきたいと思えます。

独立行政法人としては平成23年4月からは非国家公務員型独立行政法人を見据えての第2期中期計画の2年目となります。昨年度末、私たちの機構に行政刷新会議のいわゆる仕分け作業で厳しい指摘や指示が出されました。平成23年度の国立病院機構では先の勧告を受けていい意味でのさらなる改革が行われることになりそうです。昨年に新病院と電子カルテまでの機能アップというハードやソフト面での再整備を果たした当院にとって今年がこれからの10年、20年を見据えた運営の基盤となる最も重要な年になると考えます。今年も「断らない病院」「地域で選ばれる病院」を目指し、「患者中心」、「地域完結型医療」、「チーム医療」、「情報公開」など当院の基本理念を誠実に実践し、地域の医療機関や行政と密に連携して「提供する医療の安全と質の向上」に積極的に取り組みます。

今年も変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

年 男 ・ 年 女



東7階病棟看護師長
清田 久美子

あけましておめでとうございます。年頭に、このような原稿執筆に依頼をいただき光栄です。ただ、ここでご挨拶するのは、歳がわかってしまうので、ちょっと複雑ではありますが・・・。

さて、昨年は新病院への移転という、大イベントを経験し、本当に大変でしたが、スタッフも一生懸命頑張ってくれて、今では懐かしく(?)感じるくらい病棟も落ち着いてまいりました。今年は、この新しくなった病院で、私たち自身が、さらにより看護を提供できるか試される年ではないかと思います。

今年も忙しくなりそうですが、気持ちにゆとりを持ち1年頑張っていきたいと思っています。



契約係長
中西 聖悟

明けましておめでとうございます。

横浜医療センターは昨年の4月に新しい建物での診療を開始し、つい先日開院したばかりのように思えますが、はや9ヶ月が経ちました。平成23年に年男になるからと、この原稿の依頼を受け、年月の早さに驚いています。

私の担当している係は物品の購入や業務委託の契約事務等を行っています。あまり医療職の職員ほど直接皆様に接する機会はないと思いますが、業務の委託内容の改善などを経て、入院・通院される皆様の療養環境の改善に貢献出来ればと思います。



東6病棟看護師
田村 佳世子

明けましておめでとうございます。

今年、看護師3年目となります。看護師として更に責任感をもち、学習する気持ちを忘れずに業務を行っていきたいです。昨年は新病院での新システムに悪戦苦闘していましたが、日に日に慣れてきています。患者様一人一人に目を向け、よりよい看護提供ができればいいと思います。

仕事でもプライベートでも、健康に気をつけ、常に笑顔でいられるそんな一年にしていきたいと思っています。



臨床検査技師
濱田 大輔

今回執筆依頼を受け年男になる事を実感しました。仕事を始めてから年数を重ねるうちに年末年始の感覚が薄れ、あっという間に年が明けていて、年々ゆっくりと新年の抱負を考える時間も無くなってきているように思えます。その為なのか、元来持っている天邪鬼の性格のせいであるのか、年男であるからといって、12の干支の内の1つでしかなく、大事さはどの年でも同じという考えが出来てしまっています。今年一年も気楽に、肩に力を入れず自分らしく一日一日大事に過ごしていければ良いと思っています。



行事紹介

APECを終えて

地域中核連携係長 濱井 俊充

11月7日(日)から8日間にわたって開催されたAPEC横浜会議が14日に終了しました。会議にはアメリカや中国、オーストラリアなどアジア太平洋地域にある21の国・地域が参加し、経済や貿易等に関連する課題などについて話し合いが行われました。

会議の開催期間中は、会場となるパシフィコ横浜(みなとみらい)の周辺に交通規制がされる等、テロや災害に備えた警戒態勢が敷かれる一方、会場及びホテルには会議出席者や関係者のための救護所が設置されました。

横浜医療センターからは医師1名、看護師1名を YMAT (Yokohama Medical Ambulance Team) として救護所に派遣し、APECの開催に協力しました。

APEC開催後、横浜市健康福祉局から感謝状が贈呈されました。

YMAT...横浜市内で発生した崖崩れ等の自然災害・列車脱線事故・高速道路交通事故などで複数の重症者や多数の負傷者が発生し、又は発生が予測される災害現場に、消防との連携により迅速に出動し、救命のための的確な医療活動を実施する医師・看護師等による横浜救急医療チーム



新病院前の交差点整備について

地域中核連携係長 濱井 俊充



12月1日(水)に駐車場等の外構整備工事が完了し、新病院がグランドオープンしました。

また、12月12日(月)には長年にわたって渋滞のメッカであった原宿交差点の立体化工事が完了し、11月から設置・運用を開始している病院出入口(環状4号線)前の交差点とあわせ、当センターに来院される皆様の交通の便が格段に向上することとなりました。

行事紹介

原宿交差点アンダーパス開通に伴う消防訓練に参加

庶務班長 関口 実直

平成22年12月12日に開通する国道1号線原宿交差点における災害発生時に対応するための消防訓練が平成22年12月7日に実施され、横浜医療センターの救急医療チームも参加しました。

原宿交差点アンダーパス内における車両火災・救助事象を想定し、戸塚警察署、消防局特別高度救助部隊、戸塚消防署と連携し、緊迫した状況下の中、交通事故車両より要救助者の搬出・救助訓練を行いました。



お知らせコーナー

糖尿病看護ケア外来オープンしました!!

西5病棟副看護師長
糖尿病看護認定看護師
長嶋 美里



9月29日から毎週水曜日に「糖尿病看護ケア外来」がオープンしました。横浜医療センターに通院中の糖尿病患者の皆様に対して、糖尿病看護認定看護師や糖尿病療養指導士の資格を持つ看護スタッフが、さまざまな相談をお受けします。

ご相談内容の例

血糖コントロールがなかなか良くならない方

妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠の方

糖尿病合併症のある方

インスリン注射に関する相談

教育入院後のフォローアップ

糖尿病をご心配されている方

フットケア（13：00～ 足や爪の変形、巻き爪、タコ、しびれ、傷でお困りの方）



40歳以上の6人に1人が糖尿病、あるいはその予備軍!!



糖尿病は血液中のブドウ糖(血糖)が正常より多くなる病気で、のどが渇く、頻尿、疲れやすい、体重が減るといった自覚症状があります。血糖値が高いまま放置するといろいろな合併症を引き起こします。その中でも「足病変」についてはあまり知られていませんが、「神経障害(足のしびれや感覚が鈍る)」「血流障害」、「抵抗力の低下」などから足に潰瘍ができやすく治りにくいと言われていています。年に3000人の糖尿病患者様が足を失っているという現状です。私たちも今まで足の切断を余儀なくされた患者様をみてきましたが、その方たちは「いつのまにかこうなっていた」

「足の壊疽なんて知らなかった」と話されます。しかし、足の潰瘍・壊疽は毎日の観察と、医療機関での定期的な受診で予防できると言われています。フットケア外来では足の神経障害の程度を見させていただき、患者様一人一人に合った具体的なケア方法をお話しさせていただきます。また患者様ご自身で処置が難しい場合には、爪切り、角質ケア、タコ処置を行うことも可能です。いつまでも元気な足でいるために是非ご利用ください。スタッフ一同お待ちしております。

受診方法 予約制（当院に通院中の患者様は主治医にご相談ください。）

診察日時 毎週水曜日 9：00～17：00

職 場 紹 介

今回は放射線科の紹介です。

放射線科

診療放射線技師長 塚田 勝

新病院では放射線治療装置をはじめ多くの装置が新しくなりました。特にMRI装置と血管撮影装置は2台に増え、緊急の検査にスムーズに対応できるようになりました。救急患者さまの検査も24時間行っており、当院の救急医療体制を全面的に支援しています。各装置については当院のホームページで紹介しております。「診療案内」の中に「放射線科」の紹介もありますので是非ご覧ください。

放射線科で検査を受ける時は検査内容にかかわらず、はじめに放射線受付にお越しください。そこで受付をしていただくと、検査担当者に連絡が行くようになりました。その際、検査待合い場所をご案内しております。また、院内ではフィルムの使用がなくなり、患者の皆さまにフィルム作成の待ち時間やフィルムを運んでいただく不便を解消いたしました。

MRI装置による脳ドックも行っております。女性の診療放射線技師も勤務しており、女性の方により安心できる検査体制の提供を心がけております。

脳ドック受付(地域連携室) TEL:045-853-2331



リニアック



MRI装置



血管撮影専用装置



放射線科案内図

地域医療連携

病診連携施設紹介

内科小児科むかひら医院

診療科目：内科・小児科

汲沢は県営団地と東急分譲地に隣接し、バス停は汲沢中央に下車前の小医院です。39年前に「あなたの家庭医」として開業し、初期医療を中心にやさしい医療をめざしてきました。小児専門医資格の継承者は看板を充足すべく、ながらくの都内病院内科医を務め終えて今併診体制に入っています。スタッフは仲良く皆極めて長期に勤めています。開業当初からジェネリック薬を採用し、テイラメイドの服薬指導ができて患者さんに便利な院内処方をしています。迅速検査をはじめやさしい検査を選びます。体重、血圧、体温、血糖などの在宅計測や症状経過など日記形式の患者さんは大歓迎です。生活習慣病の患者さん170人を心血管病リスクの5段階に分類し、うち正常者と動脈硬化のはじまりの80人は(沢山の検査を省略して)最も簡単に脈圧 $47 \pm 5\text{mmHg}$ で区分できました。定点観測の当院は2年前、旧型インフルエンザの日本初発タミフル耐性株3例(市衛生検査所がWHOに登録)を出しました。



下段右側が院長

当院は近隣の病院や介護施設にお世話になっていますが、開業以来ずっと連携いただいているのが横浜医療センターです。この病院の先進的専門医療と地域の中核的存在はありがたく頼り甲斐があります。地域医療連携室もスムーズに機能し、大病院の全科が気軽に紹介を引き受けて下さいます。救急は勿論、時間外も(本来は輪番当直病院を利用すべきなのですが)つい甘えてしまいます。病状を説明すると「では、救急車でいらっしやい」とまで指示して下さる先生もあり、救急隊の要請で患者さん共々ほっとします。紹介患者さんの専門的診断や難渋例の解決などは貴重な生涯研修です。各種の勉強会や講演会も医療レベル向上に役立ちます。高度設備による先端的情報もCDでいただいています。当院のCR画像はデータが送れず、将来双方向のネット回線で結ばれればと思います。アメニティも高くなった新病院は患者中心の医療がすすめられて紹介患者さんは笑顔で戻って来ます。



むかひら医院

〒245-0061 横浜市戸塚区汲沢1-39-24
TEL : 045-861-4160

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00							/
午後 2:30 ~ 6:00			/			/	/

休診日 土曜午後 日曜

大正連合フェスタ開催

教育担当師長 黒澤 孝子



12月とは思えないような、ポカポカ陽気の中、12月5日(日)に大正小学校で大正連合フェスタが行われました。地域の皆様の多彩な芸の披露やおいしい食べ物のお店もたくさんあり、とってもにぎやかに行われました。



横浜医療センターでも昨年から参加をさせていただき、地域の皆さんとのふれあいを楽しませていただいています。当日は看護部と事務部の職員8名が参加しました。血圧や体重、体脂肪などの測定と健康相談を行いました。



横浜医療センターのコーナーへ81名の方が来ていただき結果に「やった!」という人もあれば「ちょっと気をつけなきゃなあ」とすこー



し声が小さくなる人。いろいろでした。

でもみなさん、やはり健康には関心が高いようです。



測定後の結果の説明を熱心に聞いてくださいました。「やっぱり酒は控えなきゃな」とか「軽い運動等を始めよう」などと生活習慣の改善を決意する人もいらっしゃいました。

糖尿病や高血圧など生活習慣病の健康相談にも多くの方に来ていただきありがとうございました。

楽しみながら地域の方々とふれあい、健康を高めていけるようにこれからも努力してきたいと思います。

こんな方々が参加してくださいました。

(次ページへ)



☆おいしいもの☆楽しいこと☆いっぱい!

大正連合フェスタ

～ふれあいまつり～

共催：大正連合町内会自治会
大正地区社会福祉協議会
協力：各種団体

12月5日(日)雨天実施
時間：10時～3時
場所：大正小学校

もちつき
はしご車に乗れるよ!
地場野菜即売会
みんなであそぼ!

ゲームコーナー
和太鼓
吹奏楽
大正小学校鼓笛隊

(前ページより)

メタボ注意報！ 腹囲を測ったことありますか？



85cm 90cmを超えると・・・



こんな生活していたとしたら・・・ちょっと気をつけてみませんか？心当たりのある方は改善に向けて努力してみませんか



医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
22.12.1	採用	消化器内科医師	塩賀 太郎	東京女子医科大学	22.11.12	退職	脳神経外科医師	柴田 明美
					22.11.30	退職	消化器内科医師	中尾 絵美子



横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 日塔整形外科部長
 045-851-2621(代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 奇数月第2月曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長
 045-851-2621(代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付A	小児科	鈴木 陽一 本井 宏尚 矢竹 暉子	菅井 和子 山澤 隆二 増田 由香	菅井 和子 小張 真吾 及川 茂輝	鈴木 陽一 石橋 麻由 塩谷 裕美	小林 慈典 小郷 寛史	
	心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	形成外科	村下 一晃 橋本 政敏	橋本 政敏	手術日	村下 一晃	村下 一晃 橋本 政敏	
	整形外科	国府 秀俊 守谷 亜希子 藤巻 洋	日塔 寛昇 亀井 千裕 国府 秀俊	国府 秀俊 藤巻 洋 小林 洋介	日塔 寛昇 亀井 千裕 安藤 有紀	守谷 亜希子 小林 洋介 日塔 寛昇(※)	紹介状お持ちの方も10時までに受付してください。 ※予約患者のみ。
外来受付B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	糖尿病・内分泌内科	高木 佐知子	野本 文子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人	室橋 洋子	検査日	遠藤 雅直	高橋 竜哉	
	腎臓内科	松下 啓				松下 啓	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	橋原 基史 山根 章(肺結核)	▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ
	消化器内科	▲交代医師(初診のみ)	塩賀 太郎(初診) 鈴木 大輔 ■小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか ■小松 達司	小松 達司	
	循環器内科	内田 吉枝 初診:交代(※)	網代 洋一(午前) 初診:田中 直秀	田中 直秀 初診:岩出 和徳	▲田中 直秀(午前) 初診:岩出 和徳	岩出 和徳	《循環器科新患当番医》*(月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出]
	リウマチ科	曾我 陸義	宮城 環美子	検査日	宮城 環美子	曾我 陸義 ■宮城 環美子	
	外科	清水 哲也 佐藤 渉 中山 岳龍	関戸 仁 行田 悠 原田 真吾	松田 悟郎 一万田 充洋 行田 悠	関戸 仁 清水 哲也 佐藤 渉	急患のみ(交代医師)	
	呼吸器外科					坂本 和裕	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。
脳神経外科	急患のみ(手術日)	▲ 交代医師	郭 樟吾 ※(脳ドック)	急患のみ(手術日)	椎野 王久 藤澤 和彦 市川 輝夫	▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM2:00~5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください	
外来受付C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	
	眼科	清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	手術日	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30~10:00
	泌尿器科	本田 直康 奥野 紀彦※	本田 直康 奥野 紀彦※	手術日	奥野 紀彦	本田 直康	
	皮膚科	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 谷口 友則	手術日	谷口 友則	谷口 友則	※外来時間は11:00~12:00まで 水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。
外来受付D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	初診は一般・小児心身症のみ。要紹介状。1日1人まで。
	精神科	森田 睦郎	武川 吉和	川崎 いくみ	佐倉 義久	武川 吉和	※月~金:初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	産婦人科	向田 一憲	小笠原 良治	窪田 与志	柴杉 輝彦	中村 秋彦	
	産科	窪田 与志	長谷川 瑛	後藤 美緒	神保 覚子	向田 一憲	
(専門外来)	歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 重彰・中田好美 (午前初診・午後再診)	入院手術日	塩入 重彰 (午前初診・午後再診)	塩入 重彰 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30~11:00、初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)、再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。
	小児科	アレルギー検査 シナシス(10~3月)(交代制) アレルギー(菅井) アレルギー(鈴木)	感染免疫・アレルギー(小林) フォローアップ外来(矢竹) 腎臓外来(長瀬) フォローアップ外来(及川)	アレルギー(菅井) アレルギー(藤塚) アレルギー(塩谷)	フォローアップ外来(小郷) 乳児健診(交代医師) 乳児健診(交代医師)	13:30~14:30予防接種(交代制) 神経外来(増田/亀田) 循環器外来(鈴木)	
	整形外科		スポーツ整形外科(国府)	物忘れ外来			毎週15:00~16:00 地域連携室を通して完全予約制
	神経内科						
	糖尿病 内分泌内科						
	看護部						完全予約制
	麻酔科						地域連携室を通して完全予約制
	外科						(※)完全予約制
	耳鼻咽喉科						完全予約制
	循環器科						
	精神科						初診には紹介状が必要。1日2名の予約制。
	産婦人科						第2週、第4週のみ。 (※)午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。
	放射線科						※注①13:30~15:30【完全予約制】 ※注②9:00~11:00【完全予約制】

初診受付: 平日 8:30~10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30~10:00
休診日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
新病院で始めてのお正月を迎えることとなりました。今年は卯年ということで、もともと暦では茂(ぼう)という字が卯に変わったそうです。茂という字は「しげる」と読みます。
若葉が生い茂るということから、成長発展を意味します。職員一同一丸となり成長発展の年としたいと思います。



シンボルツリーへのライトアップ



12月を迎え、新病院での最初のクリスマスも近くなり、当医療センター正面に設置されたシンボルツリーに電飾を施し、患者のみなさまに一時の憩いとなるよう配置しました。

夕方になると、外構工事も終了した駐車場、緑地地帯にとても栄えています。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

